

# 身近な子育て支援

## 乳・幼児期～小学生

・子育ての援助を受けたい人と  
援助を行いたい人のネットワーク  
【ファミリーサポートセンター(働く婦人の家内35-8953)】

## 小学生

・放課後児童クラブ  
お問い合わせ  
【各放課後児童クラブ、家庭福祉課】



## 乳・幼児期

- ◎地域子育て支援拠点と\*所属しているサークル
- ◎さんSUN さつき広場……第一さつき保育園 35-3343  
\*げんきっこサークル
- ◎かなぎ地域子育て支援センター……金木保育園 52-5818
- ◎市浦地域子育て支援センター……市浦アトム保育園 62-3163  
\*子育てサークルウランちゃん
- ◎すてっぴ広場……  
NPO法人子どもネットワーク・すてっぴ 34-2170
- ◎さかえっこくらぶ……さかえ保育園 34-3404
- ◎ハッピークラブ……まつしま団地保育園 34-3590
- ◎津軽野保育園やまばと広場…… 35-2368
- ◎ぴよっこくらぶ……新宮団地保育園 35-1005
- ◎すまいるはあとクラブ……第二さつき保育園 34-6185

- ◎ぼこ・あ・ぼこ……長橋保育園 29-3108  
\*ぼこ・あ・ぼこサークル
  - ◎ひろた地域子育て支援センター smile 2 ……広田保育園 34-8833
  - 子育て支援活動を行っている  
幼稚園・保育所(園)等
  - 金木学園 ひまわりハウス…ピヨピヨサークル、  
子育て支援活動 親子ふれあい 53-2805
  - 聖心幼稚園……子育て支援「ぼっぼちゃん」 34-2222
  - 五所川原幼稚園…未就園児教室 ひよこGUMI 35-5150
  - ひまわり幼稚園……プチひまわり 34-5080
  - 富士幼稚園…親子教室 ひよこクラブ、  
にこにこサークル、ペアスクール 34-7974
  - なおみ保育園……おひさま 34-7888
- ※青森県子ども家庭支援センター発行 平成25年版青森県  
子育てサークルリスト及び各幼稚園ホームページから抜粋

## ☆子育て支援の場は、「親育ちの場」

子育ては、家庭の中で完結するものではなく、様々な人との関わり合いにより社会性が身につく、健全な成長につながっていきます。

子育て支援の場の活用は、子どもにとっては家庭以外の世界を体験でき、子育てしている親にとっては、自分と同じように子育て中のパパやママと交流できることで、不安感や孤独感から開放され、安心して子育てを続けていくことができます。さらにこのような場所を利用することで、これまで知りえなかった知識や情報を得ることができ、子育てを通して視野が広がり、親も成長できるのです。

※それぞれの支援場所の活動目的を理解し、支援者や利用者として気持ちよく過ごせるよう心がけましょう。



## \*子育てしやすい未来へ



子育ては、社会環境によって育てやすくも育てにくくもなってしまいます。言葉によるしつけができる以前の乳児が、ぐずって公共交通機関などで泣いてしまったとき、親はとても肩身の狭い思いをしています。そんなときは、優しく見守っていてほしいと思います。逆に幼児が公共の場で走り回るなどしたときは、親が責任を持ってやめさせなければなりません。子育て中の親もそうでない人も、それぞれが心に余裕を持って将来をになう子どもたちのため、子育てしやすい環境を作っていきます。

## イクメン

子育てを楽しみ、自分自身も成長する男性

「イクメン」という言葉がよく聞かれるようになりました。でも、気が向いたときだけ、楽しいことだけ、楽なことだけをするのがイクメンではありません。「自分は親である」という自覚をしっかり持ち、子どもに接しましょう。育児はママの手伝いではなく、父親としての自分の仕事です。

◎「子育て相談」◎

- 五所川原市役所 健康推進課…35-2111  
(各種健診、発育・発達の相談、予防接種、栄養相談等)
- 五所川原保健所……34-2108  
(長期療養児療育相談等)
- 五所川原児童相談所……38-1555  
(養育上の相談、発達の相談、しつけ・性格上の相談、虐待相談等)

## 編集後記

「子育て」は「親育ち」  
いろんな体験からたくさんの知恵をもらったことを思い出して子育て時代をなつかしんでいます。(S.Y)

\*\*\*\*\* 編集：さんかく編集委員5名 \*\*\*\*\*



# さんかく

※この情報紙は市民からの公募による編集委員によって作成されています。  
女性 (Female) と男性 (Male) がともに支え合い、対等な立場で社会 (Society) を形成することを願って!!  
第17号 企画課 男女共同参画室 (内線2156)



## いきいき子育て ~子育てしやすい社会を目指して~



近年の経済状況の悪化による収入減少や非正規雇用者の増加により、夫婦共働きの世帯が増えています。平成22年の国勢調査によると青森県の共働き率は60.77%で全国第13位と、上位にランキングしています。

女性が仕事や社会活動へ進出することで、子どもがいる世帯にとって子育て支援は、非常に重要なものとなりました。また、人間関係の希薄化や核家族化の進行により、子育てに不安感や孤立感を持つ親も増加しています。

そこで、子育て世帯にとってどのような社会環境がいいのか、考えてみましょう。

子育てしやすい社会とは？

子どもを安心して産める病院がある。

子どものことや親自身が相談できる人、機関がある。

夫婦とも育児休業をとりやすい環境にある。

リフレッシュできる時間や、場所がある。

子どもを安心して預けられる場所がある。

夫婦で家事を分担できる。

どれが欠けても子育てはしづらくなってしまいます。充実した毎日を過ごすため、身近にある子育て支援制度には、どのようなものがあるのでしょうか。

幼稚園、保育園の選択の幅が広く、遅くまで預かってもらえ、病児、病後児保育の整備がされている。

病気の際の医療費の負担が少なく、夜間も安心して見てもらえる小児科がある。

地域に関係なく、親子がいつでも気軽にいける保育の場や遊びの場がある。